

「いつか」ではなく

現在いまが、その時。

田原坂公園



植木特産のスイカ

歴史、温泉、農産物。
三拍子そろった住み良いまち

植木町

“水”と“緑”に恵まれた
湧々都市

熊本市



熊本城と市電

熊本市と めざす 植木町 のさらなる発展!

まちの皆さんの
“声”を聞きました!

住みやすく、育てやすい
環境作りに期待したい

島田眞由美さん

学童保育指導員

私は平成13年からボランティアで子育て支援のお手伝いをしてますが、植木町の厳しい財政難を受け、次々と予算がカットされる悲しい現実を見ました。次の時代を築いていくのは子どもたちですし、子育てしやすい環境を作ることが町の活性化への近道だと思います。幸い、植木町は多くのボランティアの方々を支えられ、子育てネットワークは充実しています。あとは、熊本市との合併によって政令指定都市になることで予算面でも安定し、より充実した支援が可能になるといいですね。



厳しい競争の時代
周辺地域との連携が
発展のカギ

山田耕司さん

(株)山田青果卸売市場
代表取締役社長



経済や観光などさまざまな場面で競争に勝ち抜くためには、「アジアの中でどうやって存在感をアピールするか」が重要。つまり、熊本市や植木町、または福岡市という単体で取り組むのではなく、九州の近隣同士が強固な協力体制をとることが不可欠だと考えます。例えば熊本市も植木町も全国有数の農産地ですから、合併することで1+1=2以上の力を発揮できますし、2011年春に九州新幹線が全線開通した際、熊本が通過点にならないためにも政令指定都市の実現に期待します。

合併にともなう
さまざまなメリット

熊本市との合併が実現すると、さまざまな分野で
住民サービスが充実します。その一部をご紹介します。

■都市基盤の整備が進み、新しい施設も!

○現在、植木町で進められている各種整備計画（公共下水道事業、水道事業、区画整理等）が、合併によって計画通り着実に進展します。

■熊本市が実施している各種サービスが受けられます

○高齢者、障がい者の方などがバス・電車や市の公共施設を割引料金で利用できる「さくらカード」
○産後の体調不良などで家事や育児が困難な家庭にホームヘルパーを派遣する「産後ホームヘルパーサービス」
○少人数学級の実施、基礎学力の定着を図るための問題集「学びノート」配布など、きめ細かな教育

○産後の体調不良などで家事や育児が困難な家庭にホームヘルパーを派遣する「産後ホームヘルパーサービス」
○商店街の街路灯などの電気代補助、空き店舗活用事業や活性化イベント事業への助成 など

■広域的な行政サービスが向上!

○熊本市内には、救急車を受け入れる大きな公的病院が多数あり、患者の受け入れ拒否問題が起きておらず、より安心です。
○高校の通学区の拡大（現在の通学区に加えて、熊本学区の高校も通学区になります）など